

夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校
学校だより 第7号
令和3年11月26日

行事再開!日常に戻りつつありますが…

後期がスタートしてからあれよあれよという間に、1か月以上経過しました。10月19日には1年生が校外学習に出かけました。成田空港近くのさくらの山公園では、離着陸する飛行機にカメラを向け、成田山では新勝寺でのおみくじや参道での買い物に歓声を上げていました。11月13日には、本校一大行事の「光toku祭」を開催することができました。例年通りとはいきませんでした。昨年度よりは規模を広げ、教育長をはじめとする教育委員会の方々、歴代の校長先生、一部ではありましたが地域の方々、検見川高等学校吹奏楽部をお呼びすることができました。参加者の皆様からは、開催できたことへの喜びやこれまでの苦労へのねぎらいの言葉をたくさんいただきました。それを受けて、生徒も日頃の取組を遺憾なく発揮し、充実した時間を過ごすことができました。そして今日、11月26日は3年生が修学旅行から帰ってきました。5月に大阪方面へ行く予定から9月の山梨方面へ変更。その計画も叶わずでしたが、三度目の正直でようやく今回、成田経由鴨川方面への一泊二日で実施することができました。度重なる延期や変更に対して、不安や不満はあったかと思いますが、よくぞここまで我慢や理解をしてくれたと感謝するばかりです。(卒業旅行で東京ディズニーランドか横浜か行きたいですね!)



そして、その東京ディズニーランド・シーで有名なオリエンタルランドが出資し、パーク運営に関わるクリーニングや花卉事業を展開している舞浜コーポレーションへ、先日、見学研修に行っていました。会社の組織運営から仕事内容、社員への研修体制、求められる人材等について、お話を伺うことができました。企業理念の、障がいのある人もない人も、「一緒に働く」会社を創る『協働』、「一緒に育つ」風土を創る『協育』、「一緒に挑む」文化を創る『協挑』を踏まえ、〈ゲスト〉の〈ハピネス〉のためにというキーワードのもとに、社員一丸となって取り組んでいる様子を肌で感じる事ができました。会議室の前面には、「OLC-WAY」というグループ全役職員共通の約束が掲示され意識の浸透・啓発が図られておりました。

(OLC GROUPのHPから引用)

- ①誠実:「今だけ」、「自分だけ」良ければよいのではない。常に長期視点に立ち、全体最適視点で考えよ。
- ②自ら実行:行動なくして成長なし。まずは自らチャレンジせよ。失敗は最高のノウハウである。
- ③健全な衝突:前例がベストとは限らない。本来の目的を見失わず、ゼロベースで議論せよ。

コロナ禍でまだまだ見通しのもちにくい現在、本校のおかれた状況を考えると、上記に掲げられた3点はどれもピッタリと当てはまります。卒業後、5年後、10年後を考え誠実に取り組むこと、成功も失敗もすべて自分の糧になること、よりよい生活のために考え議論すること、そのどれもが大切であるということ、改めて考える良い機会となりました。今後、また変更を余儀なくされる場面があるかもしれません。変化に対応するためにも、また、学校教育目標の「社会自立、職業自立を目指し、誠実で心豊かな社会人として生きる力を育成する」に近付けるためにも、これらのことを意識していきたいと思い、載せさせていただきました。

校長 三宅 健二郎